

セクション1：製品および会社情報

製品特定名 59214
製品名 HIGH TEMPERATURE THREAD SEALANT 6ML

その他の識別手段
登録番号 利用可能な情報はない

化学薬品の推奨用途および使用制限
推奨用途 シーラント

推奨されない使用 利用可能な情報はない

安全データシートの提供者の詳細

会社名
ITW Permatex
10 Columbus Blvd.
Hartford, CT 06106 USA
Telephone: 1-87-Permatex
(877) 376-2839

緊急連絡電話番号
24時間対応緊急時電話番号
Chem-Tel: 800-255-3924
International Emergency:
00+1+ 813-248-0585
Contract Number: M1S0003453

電子メールアドレス
mail@permatex.com

セクション2：危険有害性の要約

化学物質または混合物の分類

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分 2
急性水生毒性	区分 3

ラベル要素



注意喚起語
・ 警告

危険有害性情報
H315 - 皮膚刺激
H319 - 強い眼刺激
H371 - 臓器の障害のおそれ
H402 - 水生生物に有害

注意書き - 予防

- ・ 取扱後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- ・ 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること
- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
- ・ この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと
- ・ 環境への放出を避けること

注意書き - 対応

- ・ 暴露したとき、または気分が悪い時：医師に連絡すること
- ・ 特別な治療が必要である(このラベルの応急処置についての補足指示を見よ)
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・ 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること
- ・ 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと
- ・ 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること
- ・ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

注意書き - 保管

- ・ 施錠して保管すること

注意書き - 廃棄

- ・ 内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること

その他の情報**他に分類できない危険有害性(HNOC)**

- ・ 該当せず

セクション3： 組成及び成分情報**単一化学物質**

化学物質名	重量%	ENCS	ISHL番号	CAS番号
ポリアルキレン(C=2 ~4)グリコールジメタ クリレート 25852-47-5	20-40	X	-	
ポリエステル樹脂	10-30	X	-	-
マイカ(別名：含水ケイ 酸アルミニウムカリウ ム、雲母粉、白雲母) 12001-26-2	10-30	-	-	
テトラエチレングリコー ルビス(2-エチルヘキ ソエート) 18268-70-7	<10	X	-	
1-オクタノール 111-87-5	<10	X	-	
四ふつ化エチレン 9002-84-0	<5	X	-	
ジメチルポリシロキサン ・シリカ反応生成物 67762-90-7	<5	X	-	
二酸化チタン 13463-67-7	<3	X	-	
1,2-プロパンジオール 57-55-6	<3	X	Present 2-(8)-321, 2-(8)-323	
サッカリン 81-07-2	<2	X	-	
1-メチル-1-フェニルエ チル=ヒドロペルオキシ ド 80-15-9	<2	X	-	
エチレンジアミン四酢酸 四ナトリウム塩 64-02-8	0.1-1.0	X	-	

Component	クラス 1	クラス 2
1-オクタノール	73	-

111-87-5 (<10)		
1-メチル-1-フェニルエチル=ヒドロペルオキシド 80-15-9 (<2)	440	-

セクション4： 応急措置

一般的なアドバイス	気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
吸入	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚接触	皮膚に付着した場合：石鹼と水で洗うこと。炎症が続く場合は、医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼との接触	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
経口	飲み込んだ場合：無理に吐かせないこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師に連絡すること。
応急処置を行う者本人の保護	指定された個人保護具を使用すること。
医師に対する注意事項	症状に応じて治療すること。

セクション5： 火災時の措置

引火性の特性	引火性でない。
適切な消火剤	二酸化炭素 (CO2)、粉末消火剤、泡消火剤。
使ってはならない消火剤	なし。
化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性	特になし。
消火を行う者のための特別な保護具	指定された個人保護具を使用すること。消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。

セクション6： 漏出時の措置

個人に対する注意事項	特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること。眼および皮膚との接触を避けること。取り扱い後はよく洗うこと。
環境に対する注意事項	地上水または下水施設に流さないこと。環境影響情報の詳細情報については#12を参照のこと。
封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	十分換気されているか確認すること。不活性吸収剤で吸収すること。ほうきで集め、シャベルで適切な容器に入れて廃棄すること。
二次危険有害性の予防	環境規則に従って汚染された物体および区域を十分に浄化すること。

セクション7： 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。蒸気またはミストを吸い込まないようにすること。皮膚および眼との接触を避ける。取り扱い後はよく洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。
混触危険物質	強力な酸化剤、アミン

セクション8： ばく露防止及び保護措置

暴露ガイドライン

化学物質名	日本	ISHL作業環境評価基準 - 管理 制御レベル	ACGIH TLV
マイカ(別名: 含水ケイ酸アル ミニウムカリウム、雲母粉、白 雲母) 12001-26-2	-	-	TWA: 3 mg/m ³ respirable fraction
二酸化チタン 13463-67-7	TWA: 0.3 mg/m ³	-	TWA: 10 mg/m ³

技術的対策	排気換気装置を使用して空中浮揚濃度を暴露限界値未満に保つこと。
個人用保護具	
呼吸用保護具	換気が不十分な場合、適切な呼吸保護具を着用する。必要に応じてNIOSHの承認を受けた有機蒸気用カートリッジまたはキャニスター付の空気浄化呼吸装置を使用すること。
眼/顔面の保護 皮膚および身体の保護	密封性の高い安全ゴーグル。 プラスチックまたはゴム製の手袋。
一般的な衛生注意事項	取扱中は飲食禁止および禁煙。機器、作業区域および衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。

セクション9: 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的特性に関する情報

物理的状态	ペースト	
外観	白色	
臭い	軽度	
色	利用可能な情報はない	
臭いのしきい値	利用可能な情報はない	
特性	値	備考・方法
pH	利用可能な情報はない	
融点 / 凝固点	利用可能な情報はない	
沸点 / 沸点範囲	> 149 °C / 300 °F	
引火点	> 93 °C / > 200 °F	
蒸発速度	利用可能な情報はない	
燃焼性(固体、気体)	利用可能な情報はない	
空気中での可燃限界		
燃焼上限:		
爆発下限:		
蒸気圧	利用可能な情報はない	
蒸気密度	>1	Air = 1
比重	1.16-1.26	
水への溶解度	不溶性	
溶解度	利用可能な情報はない	
分配係数	利用可能な情報はない	
自然発火温度	利用可能な情報はない	
分解温度	利用可能な情報はない	
動粘性率	利用可能な情報はない	
動的粘度	利用可能な情報はない	
爆発性	利用可能な情報はない	
酸化特性	利用可能な情報はない	
その他の情報		
VOC含有率 (%)	<3%	
かさ密度	利用可能な情報はない	

セクション10: 安定性及び反応性

反応性	該当せず
安定性	通常の条件下で安定。
爆発データ	

機械的衝撃に対する感度 なし
 静電放電に対する感度 なし

危険有害性反応の可能性
 通常のプロセスではない

危険有害な重合
 通常のプロセスではない

避けるべき条件
 過剰な熱.

混触危険物質
 強力な酸化剤, アミン

危険有害な分解生成物
 二酸化炭素

セクション11: 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

未知の急性毒性

混合物の 0.081 %は急性経口毒性が未知の成分から成る
 混合物の 0.081 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る
 混合物の 23.021 %は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る
 混合物の 23.021 %は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る
 混合物の 22.021 %は急性吸入毒性(粉塵/ミスト)が未知の成分から成る
 以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出された

ATEmix(経口) 15,776.00 mg/kg
 ATEmix(皮膚) 16,964.00 mg/kg
 ATEmix(吸入 - 粉塵/ミスト) 117.00 mg/l

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学物質名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
テトラエチレングリコールビス (2-エチルヘキサエート)	= 18 g/kg (Rat)	> 20 mL/kg (Rabbit)	-
1-オクタノール	> 3200 mg/kg (Rat)	> 5000 mg/kg (Rabbit)	-
二酸化チタン	> 10000 mg/kg (Rat)	-	-
1,2-プロパンジオール	= 20 g/kg (Rat)	= 20800 mg/kg (Rabbit)	-
1-メチル-1-フェニルエチル= ヒドロペルオキシド	= 382 mg/kg (Rat)	= 0.126 mL/kg (Rabbit)	= 220 ppm (Rat) 4 h
エチレンジアミン四酢酸四ナト リウム塩	= 1658 mg/kg (Rat) = 10 g/kg (Rat)	-	-

短期的及び長期的暴露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 利用可能な情報はない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能な情報はない。

感作 利用可能な情報はない。

生殖細胞変異原性 利用可能な情報はない。

発がん性 下の表は各機関がいずれかの成分を発がん性としてリストアップしているかを示す。

化学物質名	日本	IARC
四ふつ化エチレン 9002-84-0		Group 3
二酸化チタン 13463-67-7	2	Group 2B
サッカリン 81-07-2		Group 3

IARC(国際癌研究機関)

グループ2B - ヒトに対して発がん性が疑われる
ヒト発がん性物質として分類できない

生殖毒性	利用可能な情報はない。
STOT - 単回暴露	利用可能な情報はない。
STOT - 反復暴露	利用可能な情報はない。
標的臓器毒性	呼吸器系。
吸引性呼吸器有害性:	利用可能な情報はない。

セクション12： 環境影響情報生態毒性

混合物の 9.881 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている

長期継続的影響によって水生生物に有害

化学物質名	藻/水生植物	魚類	甲殻類
1-オクタノール	14: 48 h <i>Desmodesmus subspicatus</i> mg/L EC50 static	11.4 - 12.9: 96 h <i>Pimephales promelas</i> mg/L LC50 flow-through 17.68: 96 h <i>Oncorhynchus mykiss</i> mg/L LC50 static	15 - 26: 24 h <i>Daphnia magna</i> mg/L EC50
1,2-プロパンジオール	19000: 96 h <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i> mg/L EC50	41 - 47: 96 h <i>Oncorhynchus mykiss</i> mL/L LC50 static 51600: 96 h <i>Oncorhynchus mykiss</i> mg/L LC50 static 51400: 96 h <i>Pimephales promelas</i> mg/L LC50 static 710: 96 h <i>Pimephales promelas</i> mg/L LC50	1000: 48 h <i>Daphnia magna</i> mg/L EC50 Static 10000: 24 h <i>Daphnia magna</i> mg/L EC50
サッカリン	-	18300: 96 h <i>Pimephales promelas</i> mg/L LC50	-
1-メチル-1-フェニルエチル=ヒドロペルオキシド	-	3.9: 96 h <i>Oncorhynchus mykiss</i> mg/L LC50 static	7: 24 h <i>Daphnia magna</i> mg/L EC50
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩	1.01: 72 h <i>Desmodesmus subspicatus</i> mg/L EC50	41: 96 h <i>Lepomis macrochirus</i> mg/L LC50 static 59.8: 96 h <i>Pimephales promelas</i> mg/L LC50 static	610: 24 h <i>Daphnia magna</i> mg/L EC50

生物蓄積	利用可能な情報はない。
------	-------------

セクション13： 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物	廃棄は、適用される地方、国、地域の法律および規制に従って行う必要がある。
汚染された梱包	容器を再利用してはならない。

セクション14： 輸送上の注意

IMDG 規制対象外

IATA 規制対象外

セクション15： 適用法令

国際インベントリー

TSCA	適合する
DSL/NDSL	適合する
EINECS/ELINCS	未確定
ENCS	未確定
IECSC	適合する
KECL	適合する
PICCS	未確定
AICS	適合する

凡例：

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
 DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト
 EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト
 ENCS - 化審法の既存・新規化学物質
 IECSC - 中国現有化学物質名録
 KECL - 韓国既存化学物質目録
 PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
 AICS - オーストラリア既存化学物質インベントリー

労働安全衛生法

化学物質名	危険物質	有機溶媒	ラベルに名称を記載 しなければならない 有害物質	ISHL - 特定化学物 質(クラス2)による 危険有害性の防止	鉛中毒の予防
二酸化チタン 13463-67-7	>=0.1 %	該当せず	X	-	-
1-メチル-1-フェニルエチル =ヒドロペルオキシド 80-15-9	Explosive substance X	該当せず	該当せず	-	-

化学物質名	クラス 2	クラス 1	毒物および劇物取締法	消防法：
1-オクタノール 111-87-5	該当せず	73	該当せず	Group
1,2-プロパンジオール 57-55-6	該当せず	-	該当せず	Group
1-メチル-1-フェニルエ チル=ヒドロペルオキシ ド 80-15-9	該当せず	440	該当せず	Group

消防法：
なし

セクション16：その他の情報

改訂日 19-8-2017

安全データシートで使用される略語および頭文字のキーまたは凡例
 ・ 利用可能な情報はない

免責事項

このSDSは、JIS Z 7250:2010およびJIS Z 7252:2009(日本)の要件に準拠している。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートの終端